

ACANTHUS



2016 (平成 28) 年度 徳島キャンパス卒業式 答辞

特集

躍動する徳島文理大学生!

Index

学長挨拶	2	教員・保育士等採用試験結果報告	16
2016 年度 卒業式	3	【連載】研究室への誘い 総合政策学部総合政策学科	18
【特集】躍動する徳島文理大学生!	4	アカンス会だより	20
教員の活躍	8	2017 年度 保護者会	22
学内の動き	11	徳島文理大学公開講座 2017	22
これからの新卒採用と本学の就職支援	14	村崎学園紹介	23





競争から協奏・共創へ



学長 桐野 豊

徳島文理大学および徳島文理大学短期大学部新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

本学の建学精神「自立協同」の意味は、自立した人間になることが本学での学びの目標であり、そのためには助け合う（教え、教えられる）ことが必須であるということです。建学精神は、皆さんがどのような人間になることを期待しているのかという「人間像」を

表しており、さらにどのような社会をめざしているのかということも示しています。

現在の社会は、新自由主義＝市場原理主義が広く信奉されており、市場を通じた「競争」により、社会が進歩すると考えられています。すなわち、競争を勝ち抜いたものが残る「優勝劣敗」により、社会がよくなっていくという考えに基づいています。そこで、よく「生き残りをかけた戦い」などという言葉が発せられますが、私はそのような競争の後に残る社会に、明るい希望に満ちたイメージを描くことは難しいと感じています。

特に人口減少局面に入った日本では、「自立協同」が指し示す未来社会が重要です。すなわち、互いに助け合う「協奏」社会、さらには共同して明るい未来を創造する「共創」社会こそめざすべき未来社会であると思います。

1997（平成9）年に文化勲章を受章し、ノーベル経済学賞受賞候補にもなっていたといわれる世界的経済学者の宇沢弘文（うざわひろふみ）博士

（1928－2014年）は、「市場原理の中では、人類全体はよくなる」と述べて、新自由主義を明確に否定しています。また、宇沢博士は教育について、「Teach Fish How to Swim（魚に泳ぎ方を教える）」と述べています。子どもの教育は、魚に泳ぎ方を教えるのと同じである。魚はもともと泳ぐ素質をもっているのです。教育とはその能力と性向がすすく育つような「環境」を用意することが肝要だ、という趣旨です。

教育という言葉は、明治時代にeducationの訳語としてつくられましたが、教育には「教え込む」という感じがあります。しかし私は、教育は「共育」であると考えています。皆さんは一人孤立して成長するのではなく、友人とともに成長していきます。我々教員もまた、皆さんとともにさらに成長していきたいと考えています。

徳島文理大学という学び・探究の環境の中で、皆さんの能力と性向がすすくと育つことを祈念するとともに、本学もまた皆さんと「共に育つ」場になるように努めたいと考えています。

2016年度 卒業式

2017（平成29）年3月15日（休）に徳島キャンパス総合体育館で、3月17日（金）に香川キャンパス村崎サイメモリアルホールで2016（平成28）年度卒業式が執り行われ、1,060人が希望を胸にキャンパスを巣立ちました。

華やかで厳粛な雰囲気の中、桐野学長が大学院・専攻科・大学学部・短期大学部の代表者にそれぞれ学位記・修了証書・卒業証書を授与しました。桐野学長が「『自立協同』を実践し、自分の頭で考え続ける自立した人間、視野の広い良き市民へと成長してほしい」と式辞を述べれば、村崎理事長は、「卒業生の活躍が本学を照らし、本学の活躍が卒業生を照らす照らし合いを大事にしてほしい」と卒業生のますますの活躍を期待しました。

卒業生を代表して、徳島キャンパスでは速水智加（薬学部薬学科）さんが「社会が抱える課題に各々の専門性、そして本学で培った『自立協同』の精神を糧に、人々と互いに協力しあうことで解決の道へと一歩ずつ歩んでまいりたいと思います」と力強く決意を表明し、また香川キャンパスでは土居智哉（理工学部電子情報工学科）さんが「明日から私たちの進む道はそれぞれ異なりますが、本学での学業をとおして得た専門知識や技術を糧に、自らが選んだ道を信じ、歩み続ける決意です。そして『自立協同』の建学精神のもと、互いの分野の垣根を越えて協力しあい、地域社会・国際社会に貢献していける人材になるよう、これからも努力していく所存です」と答辞を述べました。式終了後には、後輩から花束を受け取り別れを惜しむ姿や、友人らと記念写真を撮る姿が見受けられました。

卒業生は徳島キャンパス・香川キャンパスあわせて1,060人。内訳は大学院22人、専攻科10人、大学912人、短期大学部116人。



徳島キャンパス



香川キャンパス

2016年度 優秀卒業論文・研究賞および優秀卒業演奏受賞者一覧

- | | | |
|-----------------------|----------------------|--------------------|
| 相原 美沙（人間生活学部人間生活学科） | 速水 智加（薬学部薬学科） | 谷 亜美（文学部日本文学科） |
| 森岡 博志（人間生活学部建築デザイン学科） | 清本奈々恵（総合政策学部総合政策学科） | 川北 真弓（文学部英語英米文化学科） |
| 高瀬 加奈（人間生活学部児童学科） | 吉田 彩夏（総合政策学部総合政策学科） | 瀧川 未来（文学部文化財学科） |
| 奥村 俊樹（人間生活学部心理学科） | 加藤麻優子（保健福祉学部看護学科） | 石本 和裕（理工学部電子情報工学科） |
| 山縣 大河（音楽学部音楽学科ピアノコース） | 東岡 裕樹（保健福祉学部看護学科） | 藤田 隼矢（理工学部機械創造工学科） |
| 大海 菜穂（薬学部薬学科） | 岸本 優保（保健福祉学部人間福祉学科） | 前田 葵（理工学部ナノ物質工学科） |
| 山本 葉月（薬学部薬学科） | 竹谷 唯（保健福祉学部理学療法学科） | 野田 愛果（香川薬学部薬学科） |
| 柳本 剛志（薬学部薬学科） | 濱仲 慎也（保健福祉学部診療放射線学科） | 小原 依里（香川薬学部薬学科） |
| 新居 建生（薬学部薬学科） | 安崎 真知（保健福祉学部臨床工学科） | 安元 あい（香川薬学部薬学科） |

2016年度 体育・文化功労賞受賞者

【体育関係】

- ◆準硬式野球部（徳島キャンパス）
 - 中山 雄磨（人間生活学部人間生活学科）
 - 金城 光（人間生活学部人間生活学科）
 - 上岡 伎（保健福祉学部看護学科）
 - 伊良部鈴菜（人間生活学部食物栄養学科）
 - 中島 郷兵（人間生活学部児童学科）
 - 村上 千恵（人間生活学部食物栄養学科）
 - 畑村 歩（人間生活学部食物栄養学科）
 - 濱田啓太郎（人間生活学部児童学科）
 - 松島 貴士（総合政策学部総合政策学科）
- ◆女子バスケットボール部（徳島キャンパス）
 - 上里 愛花（人間生活学部人間生活学科）
 - 大城 彩香（人間生活学部人間生活学科）
 - 小原 彩（人間生活学部心理学科）
 - 仲泊 七瀬（人間生活学部人間生活学科）
 - 幸良 理子（人間生活学部食物栄養学科）
 - 藤川 采樺（人間生活学部児童学科）
 - 具志堅未来（保健福祉学部看護学科）
 - 河野 有華（短期大学部保育科）
 - 山本 実句（短期大学部保育科）
- ◆男子フットサル部（徳島キャンパス）
 - 岩本 皓太（総合政策学部総合政策学科）

- 喜多 亮介（総合政策学部総合政策学科）
- 井形 祐太（人間生活学部児童学科）
- 鎌倉 拓也（保健福祉学部人間福祉学科）
- 鈴木 雄大（人間生活学部児童学科）
- 出口 菜美（人間生活学部児童学科）
- ◆軟式野球部（徳島キャンパス）
 - 稲田 尚悟（総合政策学部総合政策学科）
 - 吉田 浩希（総合政策学部総合政策学科）
 - 久保 友哉（総合政策学部総合政策学科）
 - 安岡 賢也（総合政策学部総合政策学科）
 - 大磯 将志（総合政策学部総合政策学科）
 - 樋口 将行（保健福祉学部理学療法学科）
 - 森岡 功成（保健福祉学部看護学科）
 - 清水茉莉亜（保健福祉学部看護学科）
 - 池田 葵（保健福祉学部看護学科）

【文化関係】

- ◆BBS部（徳島キャンパス）
 - 松本 萌（人間生活学部心理学科）
 - 清水あゆみ（人間生活学部心理学科）
 - 矢野 愛（人間生活学部心理学科）
 - 木村 優花（人間生活学部心理学科）

- ◆地域貢献まちづくり後援部（徳島キャンパス）
 - 池上 健（人間生活学部児童学科）
 - 大石 和輝（人間生活学部児童学科）
- ◆和太鼓部「億」（徳島キャンパス）
 - 石原 佳恵（保健福祉学部理学療法学科）
- ◆徳島文理大学連（阿波踊り）（徳島キャンパス）
 - 瀬田 莉子（保健福祉学部看護学科）
 - 中島 郷兵（人間生活学部児童学科）
 - 小松 美晴（人間生活学部児童学科）
 - 神崎 里紗（保健福祉学部看護学科）
 - 森田 暉月（人間生活学部建築デザイン学科）
- ◆音楽（徳島キャンパス）
 - 藤本 敦子（音楽学部音楽学科ピアノコース）
 - 戸梶 一聖（短期大学部音楽科ニューサウンドコース）
- ◆レインボーの会（香川キャンパス）
 - 辻 敦矢（理工学部ナノ物質工学科）
 - 林 龍一（理工学部ナノ物質工学科）
 - 横田 圭祐（理工学部ナノ物質工学科）
 - 岡坂 勇祐（理工学部電子情報工学科）
- ◆茶道部（香川キャンパス）
 - 石本 和裕（理工学部電子情報工学科）

徳島キャンパス

着てみたいなあ

こんな服があったらいいなあ

短期大学部生活科学科生活科学専攻1年生が 保育園児の「こんな服あったらいいな!」を制作

「ファッションクリエイションI」の授業の一環で、2016(平成28)年5月にみずほ保育園(徳島市南昭和町)年長組の園児に「こんな服あったらいいな!」というテーマで絵を描いてもらいました。園児たちの夢がいっぱい詰まった絵を形にしようと、生活科学専攻1年生9人が制作に取りかかり、採寸や仮縫い、試着と約1年がかりで完成させました。ドレスの生地を使用したのは同専攻2年生が卒業制作展の「プライダドレスメイクI・II」で使用した残布を使いました。完成したドレスをプレゼントすると園児たちは大喜び。その姿を見た学生や教職員も心から嬉しい気持ちになりました。その様子をNHK徳島放送局が取材してくださり、2017(平成29)年2月2日(木)の「NHKとく6徳島」、「845ニュース」で放送されました。



お姫さまみたい♡

完成したドレスを着てはかむ園児たち

徳島キャンパス

徳島市の「みちピカ事業」に認定

10年以上前から徳島キャンパスでは周辺道路を毎月1日に学生・教職員が協力して地域清掃活動を行っています。

2016(平成28)年度に新たに導入された「とくしまボランティアパスポート」制度と併せて、多くの履修学生・有志・教職員が協力して前期(5月)・後期(12月)全学地域清掃ボランティア活動を実施しました。その活動が認められ、本年度、徳島市の「みちピカ事業(徳島市アドプト活動)」に認定され、大学周辺4か所に認定看板を掲示し、広く周知を図りました。その活動内容をご紹介します。

- ① 徳島市の「みちピカ事業」認定看板を設置しました。
- ② 5月30日(月)(ゴミゼロの日)第1回全学地域清掃ボランティア活動を実施しました。7時45分~9時までの間、学生110人・教職員30人併せて140人が参加しました。
- ③ 12月21日(水)第2回全学地域清掃ボランティア活動を実施、年末の大掃除を兼ねて、学生18人・教職員30人併せて48人が7時30分~8時30分までの間、協力して清掃活動を行いました。



12月の清掃

徳島キャンパス

徳島文理大学生のパワーで 「とくしまマラソン2017」を成功させよう!!

第10回の節目を迎えた「とくしまマラソン2017」で、徳島キャンパスの学生153人がボランティアスタッフや沿道パフォーマンスで心からのおもてなしをしました。

◆3月25日(土) とくしまマラソン前日

とくしまマラソン前日に、第10回を記念して初のファンランが実施されました。本学学生51人がボランティアスタッフとしてコース案内・給水・荷物の受け渡し等のボランティアに従事し、おもてなしをしました。

徳島中央公園 鷺の門前をスタートし、公園内を2周する約3.5kmのコースを小学生から80代までの方約600人が、2004(平成16)年アテネ五輪金メダリストの野口みずきさんと一緒にミニマラソンを楽しみました。

◆3月26日(日) とくしまマラソン当日

①フィニッシュ会場(徳島市陸上競技場)で61人がボランティアスタッフとして従事しました。

本学学生が42.195kmをゴールしたランナー一人ひとりに完走メダルおよびフィニッシャータオルを掛ける等ボランティアに従事するおもてなしをしました。

②6クラブ41人が「徳島文理大学部活動応援チーム」を結成し、マラソンコースの吉野川堤防上で、パフォーマンスを行いました。全国からのランナーに切れ目のない応援でおもてなしをしました。



多くの学生が説明会に集まりました

徳島文理大学部活動 応援チーム

- ・徳島文理大学連(阿波踊り)
- ・和太鼓部「億」
- ・人形浄瑠璃部
- ・エイサー(エイサー団体沖繩県人会ニライカナイ)
- ・ダンス部
- ・女子フットサルクラブ



特集

躍動する徳島文理大学生!

徳島キャンパス

「第7回 ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan」音楽学部4年 藤本敦子さんが 金賞と審査員特別賞のダブル受賞!!

ヨーロッパ・ピアノ協会主催「第7回 ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan」大学A部門において、音楽学部音楽学科ピアノコース4年の藤本敦子さんが、金賞と審査員特別賞の2つの賞を受賞しました。

6月の地区予選を皮切りに、10月の地区本選(大阪)で特別優秀賞を受賞、12月の全国大会(東京)で、金賞ならびに審査員特別賞の2つの賞を受賞という快挙を見事成し遂げました。2017(平成29)年1月14日(土)には東京浜離宮朝日ホールで開催された受賞者記念ガラコンサートに出演し、ラフマニノフ作曲ピアノソナタ第2番を演奏しました。

この賞を受けて朝日新聞に取り上げられたほか、2017(平成29)年2月10日(金)には四国放送「ゴジカル!」にピアニストとして生出演、ショパン作曲ノクターン(夜想曲)第2番を披露し、素晴らしい演奏をお茶の間に届けました。



ショパン作曲ノクターン(夜想曲)第2番を演奏



「ゴジカル!」に出演した藤本さん(前列右から2番目)

徳島キャンパス

「第17回 シーフード料理コンクール」 短期大学部生活科学科食物専攻1年 吉岡千裕さんが「大日本水産会会長賞」を受賞!!

「第17回 シーフード料理コンクール(全国漁業協同組合連合会主催)」において、食物専攻1年 吉岡千裕さんが「大日本水産会会長賞」を受賞しました。

シーフード料理コンクールとは、魚料理の良さを再発見するために毎年実施されているもので「プロを目指す学生部門」と「お魚料理チャレンジ部門」があります。今年の「プロを目指す学生部門」のテーマは「私のお店で出したいお魚の一汁一丼」でした。まず書類審査により全3,359作品中2部門で計16人が選定、12月11日(日)に実技審査が実施され、吉岡さんの「まぐろの梅ちりめん丼」と「しじみのみそ汁」が「大日本水産会会長賞」を受賞しました。

後日、徳島新聞・朝日新聞にも大きく取り上げられました。



2016年12月27日(火) 徳島新聞



前列右から3番目が吉岡さん



2017年1月15日(火) 朝日新聞

徳島キャンパス

「第1回 スポーツ女子の食を支えるレシピコン クール」短期大学部生活科学科食物専攻1年 松浦彩佳さんが「RanRun 読者賞」を受賞!!

「第1回 スポーツ女子の食を支えるレシピコンクール(ホームメイドクッキング×RanRun主催)」において、食物専攻1年松浦彩佳さんが特別賞である「RanRun 読者賞(Web投票)」を受賞しました。

スポーツ女子の食を支えるレシピコンクールは今回が第1回の開催です。今回の課題は「水泳」で、全国から53作品応募があり、第1次審査を通過した10作品の中から、松浦さんの「サバ缶のドライカレー」が特別賞の「RanRun 読者賞(Web投票)」を受賞しました。「RanRun 読者賞」は、第1次審査を通過した10作品のうち、一般の方が一番食べたいと思う料理をWebで投票し、最も得票が多かった作品に与えられる賞です。

後日、徳島新聞にも掲載されました。



2017年3月2日(木) 徳島新聞



特集 躍動する 徳島文理大学生!

香川キャンパス

「女子学生による私の未来発見事業」最優秀賞受賞、内閣府男女共同参画推進連携会議で発表決定!

香川県主催の「女子学生による私の未来発見事業」において、香川薬学部と理工学部ナノ物質工学科の合同チーム「Science Women」が、最優秀賞の栄誉に輝きました。

この事業は香川県内の大学や短大、高等専門学校的女子学生が自身の手本となる県内で活躍する女性にインタビューし、動画を作成するもので、自らが社会人になった時の目標・ロールモデルを発見し、男女共同参画や女性活躍推進の理解を深めてもらうことを目的としているものです。「Science Women」が撮影対象とした方は、大学の卒業生で2016(平成28)年に日本人初の「ロレアル・ユネスコ女性科学賞 - 国際新人賞」を受賞された向井理紗さん(現在、米国ニュージャージー医科大学留学中)です。白血病の発症機構の解明に貢献し、国際的な科学賞を受賞した先輩に女性科学者としての生き方や志についてインタビューし、動画を制作しました。2017(平成29)年4月25日(火)にはチームリーダーである香川薬学部3年の丸岡 優さんが香川県職員とともに内閣府男女共同参画推進連携会議に出席し、受賞した動画を発表する予定です。



浜田香川県知事から表彰を受ける「Science Women」のメンバー

香川キャンパス

ボランティアサークル「レインボーの会」 「平成28年度さぬき市社会福祉功労賞」受賞!

「レインボーの会」は、2004(平成16)年に理工学部ナノ物質工学科の1期生が作ったボランティアサークルです。

ものづくりと科学の楽しさを伝え、一緒に楽しむことを心がけてきました。小学生だけではなく、未就学児や大人、障害をもった人など老若男女すべての人が楽しめるように「キレイ」「楽しい」「美味しい」など五感を刺激する活動にこだわってきました。100人を超える歴代部員の活動の成果が「平成28年度さぬき市社会福祉功労賞」の受賞につながりました。

2014(平成26)年度はノンアルコールワインの商品化を実現、この数年は「志度湾「NOZOMI」プロジェクト」などの活動を行い、市民の認知度も上がってきました。地元の清掃ボランティアグループや漁協と連携し、香川県の「川と海のプロジェク」にも参加しています。

この写真は、さぬき市造田地区の方々と造田小学校が協同して行っている「あじさいまつり in 鴨部川」にて、鴨部川や下流の干潟地域の川や海の状態を知ってもらう「水辺の生き物展示」を行ったときのものです。



「あじさいまつり in 鴨部川(於 造田小学校)」にて「水辺の生き物展示」

香川キャンパス

私たち学芸員をめざしています!

文化財学科2年 倉橋和希・竹内詩織・美濃弥生

2016(平成28)年2月、高松市石の民俗資料館で文学部の学生による展覧会「残された石の声—石がつなぐ小豆島と大坂城—」を見学し、感銘を受けました。そこで、私たちも展覧会を開催したいと願い出て、2016(平成28)年6月から先生方の指導を受けながら学習・調査を行っています。テーマは「小豆島産出花崗岩が江戸時代以降どのように流通したのか」。先輩たちの展覧会に引き続くものです。近年確認された古文書等から小豆島の石が各地で利用されていることが明らかになりつつあり、その実態について調査しています。

2016(平成28)年8月・9月には、東京・京都・大阪へ調査に行きました。東京では日本水準原点標庫、山王社の石鳥居、江戸城石垣、皇居二重橋、京都では五条大橋、清水二年坂・南禅寺・哲学の道の石敷、大阪では住吉大社の石橋などです。

まだまだ展覧会開催に向けての課題は山積みですが、2018(平成30)年2月に文学部の学生による8回目の展覧会開催をめざしています。私たち3人力を合わせてがんばっていますので、ぜひ展覧会にお越しください。この経験は学芸員資格の取得に大変役立つと確信しています。



東京・江戸城の石垣調査



東京・千代田区永田町にある日本水準原点標庫の調査

香川キャンパス

秋の交通安全キャンペーン

学生会執行部 杏樹祭実行委員

香川キャンパスでは「地域に根ざした大学づくり」の一環として、毎年「秋の交通安全週間」に合わせ、学生会執行部と杏樹祭実行委員による交通安全キャンペーンを実施しています。

従来は学内での活動でしたが、本学のもつ若い人的資源を地域にいかそうと、学外の取り組みへと成長していきました。さぬき市市民部生活環境課と香川県さぬき警察署との連携で、ドライバーにキャンペーングッズや本学作成の「交通安全宣言」のチラシなどを配布し、交通安全の大切さを呼びかけています。

残念ながら2016(平成28)年度は降雨のためやむなく中止となり学内での実施となりましたが、学生にとって地域の人々と触れあうよい機会でもあるので、今後も継続していきたいと思っています。



交通安全の呼びかけ



食堂にて交通安全の呼びかけ



さぬき警察署での活動

香川キャンパス

硬式野球部 OB 会との交流戦

工学部(現理工学部)1期生・3期生のOBが中心となり「徳島文理大学硬式野球部OB会」を発足し、2015(平成27)年度に大学より認可を受けました。OB/OGが在学当時、勉強や野球に思い切り打ち込めたことに感謝し、現役員をサポートするために用具を寄付してくれています。

2016(平成28)年10月23日(日)には第2回目の交流戦と総会を実施しました。OB/OG・現役選手・指導者が一緒にプレーし、OB/OGの当時の懐かしいエピソードや現役部員のリーグ戦の話などで盛り上がりながら交流を深めることができました。

大学のさらなる発展や硬式野球部の上位リーグへの進出を祈念し、第3回目の交流戦・総会での再会を約束しました。

香川キャンパス

NHK 学生ロボコン2017

理工学部河田研究室・森本研究室では、卒業研究の一環としてNHK学生ロボコンに取り組んでいます。今年は1台のロボットを製作。やわらかいディスクを飛ばして高さや位置の異なる7つの台の上に乗っているボールを落とし、さらに台の上にディスクを乗せるという非常に難しい課題となっています。

8月下旬のルール発表後、試作と発射実験を何度も繰り返してロボットを製作、1月下旬に行われた第1次ビデオ審査に応募したところ、非常に高い評価で通過することができました。第2次ビデオ審査(4月下旬)を通過すれば6月の全国大会に出場し、日本代表の座をかけて他大学と対戦することになります。

全国大会出場をめざし、ロボットの改良を進めています。



ディスカッション風景



練習風景(ディスク装填中)

香川キャンパス

香川薬学部の学生が「王越・健康のつどい」に参加

2016(平成28)年12月11日(日)に「王越・健康のつどい」が香川県坂出市王越町で開催され、香川薬学部2~5年生18人が坂出市薬剤師会が取り組む「残薬(家にある飲み残した薬)整理」や「こども薬局」に参加しました。

「王越・健康のつどい」は、地元の住民と薬剤師などの医療・介護の専門家が協力して取り組む健康イベントで、学生は地域の方々や多くの専門家と接する中で、薬剤師への期待を受け止めたようでした。



残薬整理を手伝う学生たち



2015（平成27）年にタイ王国第三王女をお迎えし、アジア植物化学協会設立記念国際シンポジウムを開催したのに引き続き、2016（平成28）年9月1日（木）から4日（日）まで、むらさきホールおよびアカンサスホールにおいてアジア植物化学協会が主催、アメリカ天然物社（Natural Product Communication Inc.）が共催し、筆者が組織委員長、NPCのDr. P. K. Agrawal氏が副組織委員長として日本薬学会、日本農芸化学会、日本生薬学会、日本油化学会、日本香料協会、日本ハーブ療法協会、日本蕨類学会、マレーシア天然物協会、フィリピン天然物協会、徳島文理大学、徳島新聞社の協賛をえて、国際シンポジウム：天然物の未来 2016 徳島（International Symposium on Natural Products for the Future 2016 : ISNPF 2016 Tokushima）が外国人125人を含む380人の参加者を迎えて盛大に開催されました。

基調講演者として抗コレステロール治療薬、心筋梗塞、脳梗塞予防薬、メバロチン（スタチン系医薬品）の発見者、東京農工大学特別栄誉教授 遠藤 章先生（アルバート・ラスカー賞、日本国際賞、文化功労章、ハインリッヒ・ヴィーラント賞、ウオーレン・アルバート賞、マスリー賞、農芸化学賞、東レ科学技術賞等受賞）をお迎えし、また国際雑誌 Phytochemistry、Planta Medica、Planta Medica Letters 各編集委員長、日本油化学会元会長、アメリカ植物化学協会元会長、ポーランド・ルブリン医科大学学長、副学長列席のもと、国際的に著名な35人の天然物学者をお招きし「天然物の過去、現在、未来」をテーマに特別講演18、招待講演17、一般講演37とポスター発表81を行いました。

最近、天然物質の単離・構造決定、全合成研究が少なくなってきたと危惧されていますが、2015（平成27）年、大村 智先生、Dr. W. C. Campbellの土壤微生物からの新規抗寄生虫薬、イベルメクチンおよびDr. Y. Y. Tuの中国薬用ヨモギ属クソニンジンからの抗マラリア薬、アルテミシニンの発見により2015（平成27）年にノーベル生理学・医学賞を受賞され、天然物の重要性が全世界に知れわたりました。天然物研究を過去、現在から学び、特にこれから30年先を見据えた生物活性物質の単離・構造・生物試験、構造活性相関、精油化学、全合成、生合成、分子生物学、バイオテクノロジー、化学生物多様性、化学生態学、薬理学、生薬学、農芸化学研究のあり方を討論する場として、本シンポジウムが組織されました。

8月31日（木）にはパークウエストーンホテルでGet-together Partyが開催され、企画監である村崎文彦先生の流暢な英語での歓迎の挨拶に続き、内外の参加者はスタダチかけチリメン入り大根おろし、イチジクの和え物、竹ちくわ、半田そうめんなど徳島名産に歓喜し、旧友との会話は21時を回るまで続きました。遠藤先生ご夫妻も最後まで大勢の参加者と談笑されました。

翌9月1日（木）は大輪の紅白胡蝶蘭が飾られたむらさきホールで、本学音楽学部学生4人がサクソフーンによるクラシックとルパン三世、津軽海峡冬景色を演奏し、次いでオープニングセレモニーには、遠藤先生ご夫妻、ルブリン医科大学学長 Drop 教授と副学長 Dalek 教授、Kazimierz 教授、株式会社河野メリクロン社長、当大学桐野学長および Agrawal 氏をお迎えし、筆者、学長、Agrawal 氏の歓迎の挨拶があり、直ちに遠藤先生の基調講演が始まりました。先生は現在臨床医薬品として年

間3兆円の売り上げのある抗コレステロール、スタチン系の医薬品の発見からその応用に至るまでの歴史を美しいスライドが使われ、学生にも分かりやすい丁寧な英語でご講演いただき、万雷の拍手が鳴りやみませんでした。

特別講演の中から興味ある講演を2、3上げると G. Cordell (Nat. Prod. Inc. USA) はこれからの伝承薬学、生薬学、薬用植物学、農芸化学研究に大量の溶媒や試薬を使うことなく水や二酸化炭素を使った持続性グリーン（グリーン）化学が必須であると強調しました。ニンニク成分が最強の殺ダニや骨肉腫に対して抗ガン活性を示すこと、ニューカレドニア産固有植物の精油が家畜に寄生するダニに対し強い殺ダニ効果のあることが示されました。GC、GC/MSなどの機器を自動車に搭載して山地にでかけ、その場で新鮮植物精油をえて直ちに香気を分析する方法が提示され、新鮮かつ迅速な香気成分分析が注目されました。

中国の国家秘密で研究されていた前述のクソニンジンの抗マラリア薬アルテミシニンの発見は、セルビアの化学者が1960年代に中国よりいち早く、arteaminnu という名前で単離構造決定されていたことから、同じ研究でノーベル賞を受賞された Y. Y. Tu 教授と一緒に同賞がセルビアの研究者にも授与されるべきであるが、同賞は3人以上に授与されないのが残念であったと、ユーモアを交えながらその発見の歴史が披露され、参加者に強烈な印象を与えました。

筆者は「高砂香料工業 KK」との共同研究によるゼニゴケ類からのシソの重要香気成分ベリラアルデヒドの大量生産と特殊な苔類の香気、辛味、苦味物質の特許化、ゼニゴケ培養による



筋肉弛緩、抗肥満ビスピベンジルの大量採取等について概説しました。苔類は個体が小さいが、多量の二次代謝物を含有し培養も容易であり、まさに微生物代謝物とともに Sustainable natural products として良い材料といえます。

バンケットは9月2日（金）、グランヴィリオホテルで阿波踊り悠久連をゲストに迎え、Phytochemistry 編集委員長、N. Lewis 氏の昨年のアジア植物化学協会発足シンポジウムのスライドショーを皮切りに、村崎理事長から寄贈された徳島文理大学製赤白ワインの乾杯で始まりしました。悠久連のダイナミックな男踊りと優雅な女踊りに外国人参加者も加わり、さらに筆者の孫たちまで飛び入りして会場一杯の総踊りになり、バンケットは熱気に包まれました。優秀ダンサーに G. Cordell, V. Butterweck 教授、Mrs. Agrawal さんが選ばれました。

9月4日（日）はポスター賞の発表があり、金賞が E. Hnawia (Univ. New Caledonia) に、銀賞は S. Mori (京都大)、K. Okuda (長崎大)、J. X. Pu (Kunming Inst. Bot. China)、I. Slacanin (labo Slac, Suisse)、D. Ueda (新潟大)、T. Yanagimoto (徳島文理大) が受賞しました。次いで筆者に対して、Dr. P. K. Agrawal から天然物化学の国際的貢献によりアメリカ天然物雑誌『Nat. Prod. Commun. 特集号 (7・8月号)』の披露と授与式が盛大に開催されました。この雑誌には内外から80報の高品質の論文が特別掲載されています。

エキスカッションは9月4日（日）午後から藍住町の藍の館にて各々オリジナルのハンカチやTシャツを藍染めし、その後日本屈指の洋ラン栽培販売会社、株式会社河野メリクロンを訪問し、蘭エキス入り素麺と天ぷらをいただきながら、絢爛豪華な洋ラン、シンビジウム、胡蝶蘭の鑑賞に浸った半日でした。

会期中は台風も東にそれ、幸いにも5日間快晴に恵まれたシンポジウムでした。最後に本シンポジウム開催に際して協賛をいただいた各学会、企業および個人の方々、当大学各施設の貸与や徳島文理大学製赤白ワインを提供していただいた村崎正人事長、歓迎の挨拶をいただいた桐野 豊学長、村崎文彦企画監、P. K. Agrawal 博士に心よりお礼を申し上げます。本シンポジウムの内容や当大学の施設や大学風景画は各参加者が Facebook や LinkedIn に投稿され、世界中に配信されています。今回のシンポジウムで当大学学生や若手教員が口頭、ポスター発表し、内外の研究者と議論して未来を見据えた天然物化学研究成果全般の財産を共有していただいたものと確信しています。

徳島文理大学産アオサノリの養殖をめざして

～藻類成長因子を活用した画期的種苗生産技術の開発と陸上養殖への応用～



山本博文 准教授

近年、日本の沿岸に自生する海藻が激減していることを皆さんはご存知でしょうか？最近ではアオサノリ¹をはじめ、徳島名産のスジ青ノリやワカメなどの養殖にも深刻な影響をあたえており、それらの水揚げ量は減少の一途を辿っています。² このような背景には、日本海域の海水温の上昇やミネラルバランス等

の変化が影響していると考えられてきましたが、私たちの研究グループは藻類に付着するバクテリアの影響を視野に入れ、それらが産生する藻類成長因子³を活用した新たな海藻養殖技術の開発に取り組んできました。そして付着バクテリアの一種（YM2-23株）が産生する緑藻類成長因子を化学的に不斉全合成（スキーム1）⁴し、最近、それを利用したアオサノリの完全無菌化種苗の作成（写真1）と最終生体までの完全養殖（写真2）に成功しました。

最終生体への養殖実験は、徳島大学水圏教育研究センターの浜野龍夫先生、岡直宏先生、高知大学海洋植物学研究室の平岡雅規先生のご協力を得て、鳴門ウチノ海や土佐湾沖の汲み上げ海水を利用しましたが、いずれの海水を用いても極め

薬学部（薬品製造学教室）准教授 山本博文

て良質なアオサノリを養殖できることが分かりました。この開発した一連の技術を用いれば、これまでの天候や気候に左右される養殖から脱却した全く新しい陸上での周年養殖が可能です。今後は規模を拡大し、徳島県や高知県の地域活性化事業の一環として、徳島文理大学産アオサノリを養殖したいと考えています。

本研究活動を通じて、自然生命現象に与える有機化合物の重要性や可能性を再認識することができました。今後も社会貢献へとつながる基礎研究をモットーに、研究活動を通じたさまざまな経験を本学の学生と共有することで、広い視野をもった人材の育成に努めていきたいと考えています。

【補足説明、参考文献】

1. アオサノリは「学名： *Monostroma nitidum* ヒトエグサ（一重草）」をあらわす一般名で、三重県では「あおさ」、沖縄では「あーさー」、高知県では「四万十のり」とも呼ばれる。近年では、血圧降下作用や中性脂肪を効果的に抑制するD-システノール酸を豊富に含有することから健康食品としても注目されている。
2. 高知県の四万十川下流域では2005年以降、四万十のりの収穫量が全盛期の1/5以下まで減少。アオサノリの水揚げ量全国1位の三重県においても、1970年代をピークに、現在では当時の1/3にまで減少。
3. Isolation of an Algal Morphogenesis Inducer from a Marine Bacterium. *Science* 2005, 307, 1598.
4. Total Synthesis of (-)-Thalusin: Utilization of Enzymatic Hydrolysis Resolution. *The Journal of Organic Chemistry*, 2014, 79, 8850-8855.

スキーム1 藻類成長因子の化学合成

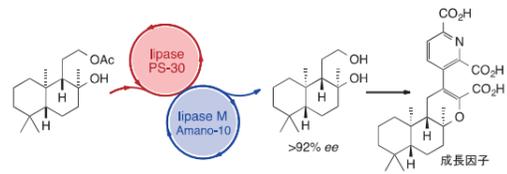


写真1 アオサノリの無菌種苗

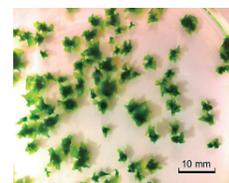
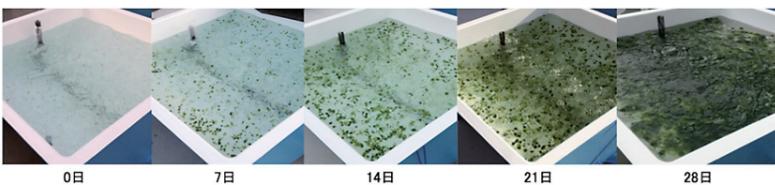


写真2 アオサノリ種苗の陸上養殖



香川キャンパス教務部長 丸尾 寛先生 NHK「ブラタモリ」に出演!!

NHKの番組「ブラタモリ」の2017（平成29）年1月21日(土)放送「こんぴらさん」特集の回に香川キャンパス教務部長 丸尾 寛先生が出演しました。

「こんぴらさん」の名で知られる、香川県琴平町の金刀比羅宮。江戸時代から、海上交通の守り神として厚い信仰をうけたこの神社。麓から本宮まで785段の長～い石段を登る参拝客は、今年年間300万人を超えます。でも一体どうして人は、四国の山の中にある「こんぴらさん」をめざすのでしょうか？

香川県の近世・江戸時代の地域史が専門の丸尾先生が、タモリさんに解説しながらその秘密に迫りました。



タモリさん、近江友里恵アナウンサーと一緒に石段を上る丸尾 寛教務部長（右）



教員養成研修後の自由討論



教職課程演習室

文学部中央研究棟に「教職課程演習室」設置

1983（昭和58）年、香川キャンパスに文学部創設と同時に教員免許取得課程も開設されました。これまで中学校・高等学校の国語科・英語科・社会科各教科の教員を多数輩出し、全国各地で活躍しています。

教員免許を取得するためには、教科に応じて日本文学科・英語英米文化学科・文化財学科、各学科ごとの専門科目や関連科目に加えて、教職免許専門科目を別

途修得する必要があります。さらに、教員採用試験に合格するために、文学部では授業に加えて教育指導案作成や模擬授業の指導を行い、採用試験対策も怠りなく実施しています。

文学部では2015（平成27）年度からコース制を設定して、教員養成の位置づけを明確にしました。その一環として、この度「教職課程演習室」を文学部中央研究棟に設置し、今まで既存の講義室や

研究室で行ってきた学習支援を、新しく設置した舞台に移すこととなりました。室内に中学校・高等学校と同じような机・椅子・教卓・黒板を整えて学校現場に近似した環境とし、今後学生たちは今まで以上に実戦感覚で切磋琢磨し、教育実習にも円滑に臨んでいけることでしょう。この部屋で研鑽を積んだ学生たちが、教壇に巣立ってゆく姿が目に見えそうです。

中央大学（東京都八王子市）との連携協定 ー夏期集中講義「医療と行政」の開講企画についてー

今春、本学と中央大学（東京都八王子市）との間で、学生交流に関する協定が結ばれる予定です。

中央大学は、学部・大学院を併せて約26,000人の在籍学生（法学部通信課程を除く）を抱える総合大学です。理工学部以外は文系の学部ばかりですが、特に、法学部と法科大学院は司法試験合格者を多数輩出していることで有名です。協定締結により、本学学生たちは中央大学法学部の夏期集中講義を受講できるようになります。また、期間限定で「都会のキャンパスライフ」を体験することも可能になります。

一方、本学は中央大学からの受講生を受け入れるために、薬学部・保健福祉学

部および総合政策学部の教員が共同で新たな科目「医療と行政」を2017（平成29）年8月7日(月)～10日(木)に徳島キャンパスで開講する予定です。医療の現場で何が問題になっているのか、行政がそうした問題にどのように取り組んできたのかについて、独立行政法人徳島病院副院長や小松島市長など豊かな経験を有する教授陣が、解説を加えます。少子高齢化が進み国民の医療費が増大し続けている日本において、医療の政策課題に 대응する人材となるために不可欠な知識を提供することになります。さらに、災害医療や過疎地域

医療など本県ならではの課題への先進的取り組み紹介は、受講生（本学学生も履修可能）の知的興奮を呼ぶことでしょう。

なお、希望者には阿波踊り体験、大塚国際美術館見学などの課外活動を実施することを検討しています。



中央大学 多摩キャンパス

徳島文理大学附属幼稚園・徳島文理小学校保護者会主催「むらさきホール音楽会」開催
徳島文理大学ウインドオーケストラの演奏で子どもたちを楽しませる

徳島文理大学附属幼稚園と徳島文理小学校の保護者会主催の「むらさきホール音楽会」が2017(平成29)年2月24日(金)、徳島キャンパスのむらさきホールで行われました。

音楽学部の板東久美教授の指揮で始まった音楽会の曲目は「ライオンキング」と昨年大ブレイクした星野源さんの「恋」の2曲で、親しみやすい曲ばかりとあって園児・児童とも曲に合わせて口ずさんだり踊ったりと楽しんでいました。

また、オーケストラの楽器紹介では、音楽学部の学生たちが子どもたちに楽しんで覚えて帰ってもらおうと、キャラク

ターに扮して奮闘し、ホール内から子どもたちの笑いがあふれていました。アンコールは再度「恋」を演奏し、会場は総立ちとなりました。

幼少期から一流のホールでオーケストラを聴くという「本物に触れる機会」があり、音楽学部のウインドオーケストラもそれにこたえて演奏するという総合学園ならではの素晴らしい取り組みとなりました。



ウインドオーケストラの演奏に聴き入る園児・児童



イモトとピコ太郎に扮する学生たち



アンコールで会場は大盛り上がり！

ホストファミリー大募集!! ー台湾・韓国の留学生との交流ー

本学が毎年7月に実施する「日本語・日本文化研修プログラム」では、来日する外国人留学生を受け入れ、交流するホストファミリーを募集しています。

1人暮らしの方を除く徳島市近郊に在住の方で、国際交流や外国人との交流にご興味のある方なら、どなたでも申し込み可能です(原則1家庭2人)。

今年で5年目を迎える本プログラムでは、台湾・韓国にある本学学術協定校や高大連携校から、大学生や高校生がそれぞれ12日間徳島に滞在し、日本語や日本文化を学習します。

ホームステイは、研修期間中の週末の1泊2日、日本の家庭に滞在し、生きた日本語・日本文化に触れ、真の国際交流を体験してもらうことを目的としています。

参加する留学生や受け入れ期間は次のとおりです。

大学生コース

◎ホームステイ期間
2017年7月8日(土)～7月9日(日)

- 【台湾】(各3人)
・中山医学大学 ・大仁科技大学
・義守大学 ・逢甲大学
・開南大学 ・淡江大学

- 【韓国】(各5人)
・檀國大学校 ・水原大学校
・水原科学大学校

(計33人)

高校生コース

◎ホームステイ期間
2017年7月22日(土)～7月23日(日)

- 【台湾】(各10人)
・新民高級中学 ・樹徳家商職業学校

- 【韓国】(10人)
・安山江西高等学校

(計30人)



留学生を出迎えるホストファミリー



ホームステイ先で地域の方と交流する留学生

申し込み・お問い合わせは、徳島キャンパス国際部国際交流グループまで TEL:088-602-8001 E-mail:kokusai@tks.bunri-u.ac.jp

アカンサス会 支援金をいただいた方の氏名一覧

アカンサス会員(敬称略)

Table listing names of members and donors, categorized by amount (e.g., 100万～, 10万～49万, etc.)

特別会員等(敬称略)※

Table listing names of special members and other donors.

Summary table showing counts for each donation amount range: 100万～ (1人), 10万～49万 (1人), 5万～9万 (3人), 1万～4万 (87人), 合計 (92人)

Summary table for special members: アカンサス会員 (63人), 特別会員等 (21人), 合計 (84人)

匿名 8人 (平成29年3月10日現在)

※卒業生でない本学の教職員で、同窓会に入会していただいた方や奨学金の趣旨に賛同し、支援金を寄付していただいた方。

2016(平成28)年度末 退職者一覧

◆大学

- 千田 彰一(副学長・保健福祉学部臨床工学科 教授)
的場 秀樹(人間生活学部人間生活学科 教授)
生島 博之(人間生活学部心理学科 教授)
中島富美子(人間生活学部心理学科 教授)
安賀 早紀(人間生活学部心理学科 助手)
久武 奈央(人間生活学部食物栄養学科 実験助手)
赤木 正明(薬学部薬学科 教授)
小田 正枝(保健福祉学部看護学科 教授)
相良 安信(保健福祉学部理学療法学科 教授)
畠中 泰司(保健福祉学部理学療法学科 教授)
坂東 義教(保健福祉学部診療放射線学科 教授)
吉村 好之(保健福祉学部診療放射線学科 教授)
高見 千恵(保健福祉学部看護学科 准教授)
黒田 裕子(保健福祉学部看護学科 准教授)
田村 博之(一般総合 社会 准教授・香川キャンパス学生部 副部長)
藤村 哲也(理工学部電子情報工学科 教授)
天野 親男(理工学部電子情報工学科 実験助手)

- 岩田 誠(香川薬学部薬学科 教授)
横田ひとみ(香川薬学部薬学科 教授)
栗生 俊彦(香川薬学部薬学科 講師)
栗田 拓朗(香川薬学部薬学科 講師)

◆短期大学部

- 笹倉 潤次(商科 准教授・入試広報部 副部長)
中山 義幸(言語コミュニケーション学科 准教授 全学共通教育センター長)

◆事務職員

- 國東 幹司(本部経理部 副部長)(平成29年4月30日付)
後藤志津香(徳島・保健センター 事務職員)
吉田貴和子(香川・学生部学生支援グループ長)
松高 賢策(徳島・学生寮長)(平成29年4月30日付)
松高 悦子(徳島・学生寮 寮監)(平成29年4月30日付)

これからの新卒採用と本学の就職支援

●平成29年度の就職スケジュールは平成28年度と同様

少しでも早く優秀な学生を採用したい企業と就活(就職活動)が学業に支障をきたさないようにしてほしいと考える大学。この両者の間で就活スケジュールは昔から前倒し、後ろ倒しを繰り返してきました。

2016(平成28)年3月卒、いわゆる「16年卒」の学生の就活では、経団連(経済団体連合会)が指針で選考解禁を4月から8月へ「後ろ倒し」しました。しかし、方針がまた変わり「17年卒」の解禁時期は6月に「前倒し」になりました。そして「18年卒」も「17年卒」と同様に、広報活動が3月から、選考活動が6月から、内定日が10月からになりました。

「16年卒」の就活においては、経団連非加盟の企業を中心に指針に従わない企業が相次ぎ、インターンシップや企業セミナーなどの名目で3年次から学生に接触し、採用活動の一部とする(かつての青田買いと類似)企業も現れました。また、中小企業が大手企業の選考に先行して採用活動を展開し、その後大手企業が内定出しを行ったことで、大量の内定辞退者が生まれる結果となりました。そのため、内定を出した学生に以降の就職活動を終えるよう働きかける行為、いわゆる「オワハラ」(就活終われハラスメントの略)が問題となり、就職戦線の混乱に一層拍車を掛けました。「16年卒」の就活で、採用の「早期化」「長期化」「複雑化」を招いたことから「17年卒」方針が変更されたわけですが、まだまだ解決にはほど遠い状況です。

●これからの見通し

選考開始が8月から6月へと「2カ月」前倒しになったことで「17年卒」の就活は次のように変わりました。

まず、中小企業の選考ですが、今までどおり3~4月に始まり、内定出しのピークが5~6月になりました。従って「17年卒」の就活は、中小企業の内定出しのピーク時期と大手企業の選考時期とが重なり、5~6月が最も過密な状況になりました。「18年卒」の就活は、中小企業との競合で、大手企業の選考のペースがさらに早まることも考えられます。

また、広報活動開始から選考開始までの期間が過去最短の3カ月となり、エントリーから面接までの期間が大幅に短縮されます。このような「超々

短期」の就活に臨むに当たっては、事前の準備やスケジュール管理が大切になります。自己管理のできない学生にとってはさらに厳しい状況になります。

●学生の皆さんに望むこと

「17年卒」の就活を振り返ってみると、早くから準備を始めたことでいくつも内定を獲得した学生がいた反面、いつまでも内定をもらえない学生が増加し、いわゆる「二極化」が進みました。

私たちから見ても「たくさん獲得した学生」と「もらえない学生」とは人的にも能力的にも大差はないように見えます。しかし「自己分析」や「エントリーシート」の作成を早くしてスタートダッシュをうまく切った学生と、のんびり構え準備不足となり、実力が発揮できなかった学生とは、想像以上に大きな差がついてしまいました。企業側からも「企業研究」「自己PR」不足が目立つと指摘がありました。さらに選考基準はあとの試験になるほど難しくなっているように感じました。あとになればなるほど内定をもらいにくくなっている、まさに「先手必勝」の状況です。

また、学生と企業の間を意識のずれがあります。大手就職活動サイト「リクルートキャリア」の調査によると、企業が採用基準で重視する項目として、「人柄」「自社への熱意」「今後の可能性」に続いて「適性検査」「専門性」「成績」があげられています。一方学生がアピールしている項目は、「人柄」「アルバイト経験」「その企業への熱意」の順です。要するに企業は「わが社のために何をしてくれるのか」を期待しているのに、学生は「〇〇な経験をしました」と胸を張っています。学生が自分の経験をどのように会社の利益に還元するかというところまで踏み込んで話せないと「使えないヤツ」ということになってしまいます。とにかく思い込みだけの就活では結果はついてきません。実情をしっかりと踏まえた対応が必要となります。

さらに、これまでは企業の採用選考において大学時代の自主的な活動や経験を重視し、学業成績にはあまり重きを置かない傾向にありましたが、最近経済同友会の提言にもあるように、学びの重要性が再認識され始めています。「学業面」についても、とて一夜漬けで対応できるものではありませんので学生の皆さんは今まで以上の計画的ながんばりが必要です。

●本学の就職支援

「第一印象は会った瞬間に決まる」や「見た目

が9割」などと言われる中、面接で好印象をもってもらうためにはやはりノウハウがあります。皆さんの周りには経験豊富な先生方や職員がたくさんいます。そういう指導者に頼るところは頼る、自分でやるところは自分でやることというメリハリが大切になります。「のんびり」と構えて手遅れとならないために、まずは就職支援部を気軽に利用することから始めてください。

本学では徳島キャンパスに10人、香川キャンパスに4人の正規職員が配属され、年間延べ6,633回の相談件数をこなしています。教員・保育士をめぐず学生には教員養成対策室の正規職員4人が対応しています。また、必要に応じて商工会議所や地域支援センターなど行政のジョブサポーターも相談に応じるなど、本学の支援体制はきめ細かく充実したものにしています。

このような状況の中で、徳島キャンパスでは今年も3月4日(土)・5日(日)に学内合同企業説明会を実施しました。参加した企業様は280社、学生数922人と大規模な説明会になりました(写真参照)。4月22日(土)には香川キャンパスでも開催します。また、集団討論や適性診断等のセミナーを増やし、小規模や単独での学内企業説明会の取り組みも強化しています。

さらに、2017(平成29)年度の計画は就活の現状を踏まえ、内容をより実践的なものへと見直しを図っています。また、本格的な就職支援の開始時期を3年生(短大1年生)当初から始めるとともに、2016(平成28)年度から広報活動開始直前のセミナーを新たに設けました。

このように、就職支援部では学生への支援を充実させることで、就職率や満足度の向上をめざしています。とにかく、まずは就職支援部へ気軽に顔を出すことから始めてください。

【香川キャンパス 就職支援部】



徳島キャンパス 学内合同企業説明会



内定者 伊川 由華
(徳島県立城東高等学校出身)

【徳島キャンパス】
総合政策学部総合政策学科4年
徳島県警察官 A

★就職内定先をめざしたきっかけ、その職種を選んだ理由を教えてください。

幼いころに音楽を通じて徳島県の交通安全運動などの行事で演奏している警察音楽隊を知り、そこから警察官という仕事に興味をもちました。インターンシップに参加した時や説明会などで徳島県警で実際に働かれている方が経験した事件や事故に対応した話を聞き、改めて私も生まれ育った街で「社会貢献」がしたいと思い志望しました。

★就職活動で苦労したことを教えてください。

警察官の試験は体力試験と学力試験の両方があったので、両立して能力を向上させることが大変でした。もともと運動が得意な方ではなかったのでジムに通い基礎体力を上げ、勉強は1日6時間以上毎日するように常に心がけていました。

★教員や職員のサポートはいかがでしたか? エピソードがありましたら教えてください。

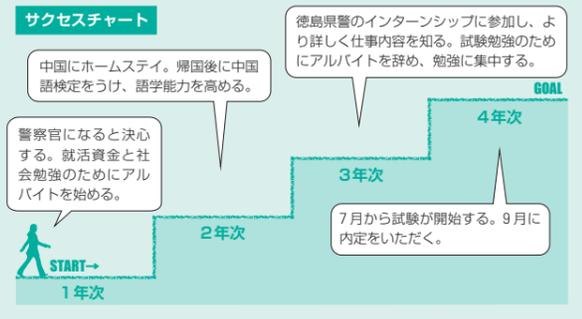
1年生の時から面談など通じて就職についての相談を親身に対応していただきました。また、面接練習などもしていただき、自信をもって試験に挑むことができました。

★社会人になってからの目標を教えてください。

中国語の資格をもっていることをいかして、近年増加している県内への中国人観光客へのさまざまなトラブルが発生した際に迅速に対応できるようになりたいと思っています。また、県警音楽隊にも入隊し、県民の方により身近に感じていただけるような警察官をめざしたいです。

★後輩へ体験を元に就職活動のアドバイスををお願いします。

学生時代はアルバイトをして就職資金をためることも大事ですが、就職試験で必要となる試験問題も勉強した方がいいと思います。いざ就活が始まってしまうと履歴書や面接カードなどをたくさん書かなければいけないので時間が思った以上ありませんでした。特に公務員試験を受けようと考えている方は早めに試験準備をしてください。



内定者 中野 達明
(徳島県立徳島科学技術高等学校出身)

【香川キャンパス】
理工学部ナノ物質工学科4年
株式会社十川ゴム(技術職)

★就職内定先をめざしたきっかけ、その職種を選んだ理由を教えてください。

自分の研究している分野の知識、経験をいかせる仕事、そしてゴム製品の試作・試験業務、設計業務、原価低減業務、見積業務など幅広い業務を行えることからこの企業を選びました。ゴムにはさまざまな性質があり、無限大の可能性を秘めています。そのような未知の製品づくりに関われることにやりがいがあると思ったからです。

★就職活動で苦労したことを教えてください。

履歴書やエントリーシートの作成にすごく苦労しました。志望動機、自己PR、趣味・特技など自分自身のことだから「簡単に書けるだろう」と思っていました。しかし、いざ書き始めると全く言葉が出ず、読み手に伝わりにくい文章でしたので、就職支援部の方々にアドバイスをいただき、ひたすら文章作成の練習をしました。

★教員や職員のサポートはいかがでしたか? エピソードがありましたら教えてください。

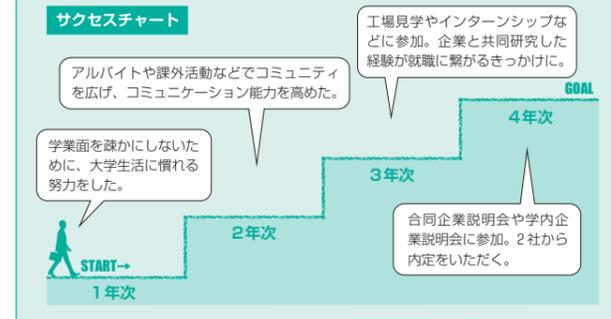
就職支援部の方々のサポートは素晴らしいと思います。履歴書やエントリーシートの添削、面接練習など親身になって対応していただきました。

★社会人になってからの目標を教えてください。

「徳島文理大学の学生を採用して良かった!」と思っていたような立派な社会人になることが目標です。香川キャンパスから採用されたのが初めてということもあり、後輩たちが私の後に続けられるようにがんばりたいと思います。

★後輩へ体験を元に就職活動のアドバイスををお願いします。

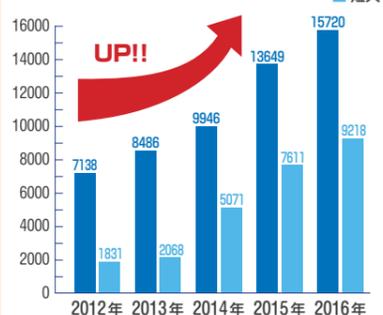
学生時代のうちに多くの友人を作り、色々なタイプの人と出会ってください。人との出会いは自分を成長させてくれます。また、たくさんのことにも挑戦し自分にはない経験を作ってください。そういった出会いや経験は自分の夢にも繋がり、就職活動時に役立つと思います。そして就職はゴールではありません。就職してからがスタートだと思ってください。そのためにもさまざまな視点から企業を見て、自分が興味をもてるやりがいのある仕事を探してください。



採用スケジュールの変遷



求人企業数推移(各年度末現在)



徳島キャンパス 就職支援部



香川キャンパス 就職支援部

教員・保育士等採用試験結果報告 (2017年度採用)

公立学校教員・保育士等に97人が合格 (3月14日現在)

●本学の合格状況

2017(平成29)年度採用の教員・保育士等採用試験が7月上旬から12月末にかけて実施されました。本学では、97人(既卒者を含む)が地元をはじめ全国の公立学校・幼稚園・保育所に合格し、新任教員・保育士として採用されることとなりました。本年度の合格者の内訳は次のとおりです。

- ◆公立学校教員 72人(内訳…小学校教諭40人/養護教諭18人/中学校教諭5人/高等学校教諭4人/特別支援学校教諭2人/栄養教諭1人/幼稚園教諭2人)
- ◆保育士 25人(幼保採用を含む)

●全国的採用状況

— 人物重視の傾向顕著に —

近年の採用状況については、少子化が進み、学級数・学校数が減少の一途をたどっているものの、団塊の世代の大量退職や国・自治体の施策による少人数学級編成の段階的实施等により、採用数は増加の傾向がみられます。この状況はあと数年続くであろうと考えられています。

今年度の公立学校教員採用試験では、受験者総数165,400人で前年度から2.5%(4,297人)減少しました。2017(平成29)年度の最終合格者数と最終選考倍率は次のとおりです。

◆2017年度 公立学校教員採用状況

- ・教員最終合格者数は33,997人で、前年度から1.0%減少した。
- ・教員最終選考平均倍率は4.9倍で、前年度と同じ倍率となった。
- ・2次選考の受験者は66,991人で、選考倍率は前年度と同じ2.0倍となった。
- ・非公表を除く52自治体の新卒受験者数は32,411人で、そのうち合格者数は8,350人となり、合格率は26%となった。(2016(平成28)年「教育新聞」付録教員採用ジャーナルより)
- ・10年ほど前に比べて競争倍率は低くなったとはいえ、現役で合格することは依然として厳しいものがあります。

採用試験は学力検査の他に、面接(個人・集団)や集団討論・場面指導・模擬授業・論文などの課題を確実にクリアしていく必要があります。最近では特に各自治体とも人物重視の方針を打ち出しており、面接や模擬授業が重視される傾向にあるので、現役の学生の皆さんは教育実習やボランティア活動等の経験を振り返り、実践力を磨く必要があります。また、各自治体の教育振興計画などをチェックし、教育方針を理解して受験にのぞむことが求められます。

●本学の採用試験対策支援

— 基礎・基本の重視と教職実践力の充実 —

徳島キャンパスでは全学共通教育センターで、教職実践力を高めるための研修会

や面接講座を含む各種対策講座を実施しています。また、年間数回の教員・幼保模擬試験を実施しています。その他、教員・保育士等採用試験とその学習方法等に関するさまざまな情報を提供しながら採用試験の相談も受け付けていますので、しっかり活用してください。

香川キャンパスでは、全学共通教育センターと就職支援部との連携のもとで支援しております。教員採用試験対策のガイダンスならびに個別相談会の実施、教職実践力の向上をめざしての教職教養講座の開講、教員採用試験模擬試験の実施など、教員採用に向けての各種の情報提供や実力養成とともに学生からの相談に応じております。

●終わりに

本学からは今春、97人の卒業生が公立学校教員・公立保育所保育士として働くこととなります。私立の学校・園・保育所で働く方々や臨時任用の方々を含めると、さらに多くの教員・保育士が誕生します。大学で学んだことをいかして、未来を生きる子どもたちを支えるために、生涯にわたって学び続ける教員・保育士として活躍されることを期待します。

徳島キャンパス
【全学共通教育センター】
香川キャンパス
【全学共通教育センター/就職支援部】



教員・幼保採用試験対策セミナー



教員・幼保等採用試験体験発表会



教員採用対策面接練習



徳島キャンパス

徳島キャンパスでは、採用試験や資格試験を受けるために講座を受講する学生、学力充実のために受講する学生など、たくさんの学生が講座やセミナーを利用しています。

☆さまざまな対策講座を実施しています!

学力充実対策講座 数学、数学上級講座、数学初級中級講座、化学、生物、物理、社会(地理)、文章読解講座、論文講座、日本語力レベルアップ講座、日本語検定講座、漢字検定講座、簿記、パソコン講座、音楽講座 など

教員養成対策講座 一般教養・教職教養講座、教育時事講座、小学校専門講座、養護教諭専門講座、幼保専門講座、栄養教諭専門講座、中高専門講座(家庭)、論文文講座、面接講座、実技対策講座、教員・幼保2次試験対策(面接・模擬授業・場面指導)、教員・幼保レベルアップ講座 など

公務員試験対策講座
教養試験(基礎能力試験)対策
【前期】一般知識分野(自然科学・人文科学・社会科学)
【後期】一般知能分野(判断推理・数的推理・文章理解・資料解釈)

☆教員採用試験対策の各種セミナーも開催!

外部から講師を招聘し、教員採用試験を受ける学生のためのセミナーもたくさん開講しています。教員採用試験を受けるために準備しておかなければならないこと、面接で注意すべきこと、最近の教員採用試験の出題傾向など、多くの情報を得ることができます。



香川キャンパス

香川キャンパスでは、特に理系学生にとって重要となる数学や物理等について、授業に関する質問をはじめ、学力充実のための指導や基礎講座を受けるなど、日々多くの学生が利用しています。

☆授業での質問や学習相談にいつでも応じます!

センター指導 物理数学担当の専任教員が常駐しており、授業での質問や学習の相談にいつでも応じます。特に、高校時代に物理や数学を十分に履修していなかった学生や理系科目に不安をもつ学生に対し、細やかな個別指導を行っています。

学力充実指導 センター指導とあわせて、すべての理系科目(物理・数学・化学・生物)と英語について、全学部の教員が連携して、授業の質問対応や学習指導にあたっています。

基礎講座 「物理基礎講座」・「数学基礎講座」・「業学初年次講座」を実施しています。

教員採用試験対策講座 教職教養・教育時事・面接・模擬授業等の指導を行っています。

☆一般教養向上のための学習資料を配布しています!

一般教養を向上させるため、毎日、簡単な時事用語と漢字演習のプリントを配布しています。また、自習スペースとして全学共通教育センターを開放しています。

☆教員、公務員採用試験への対応

全学共通教育センターとの連携のもと、就職支援部において「教職教養講座」・「教員採用模擬試験」等を実施しています。

かなえるチカラ 全学共通教育センターの取り組みについて

両キャンパス
共通

自ら進んで取り組む e (イー) 学び! e ラーニングシステムの活用

基礎学力充実のためeラーニングによる学習補助教材を導入しており、個別メニューで独自学習を効率的に行うことができます。学生は大学のパソコンが利用できる時間内であれば、好きな時間に無料で学ぶことができます。受講可能科目は「中学・高校国語」・「中学・高校数学」・「中学・高校理科」・「中学・高校社会」・「中学・高校英語」です。

合格への道 年間の支援行事

教員養成対策講座

(通年:前後期実施)

- ◇一般教養・教職教養講座 ◇教育時事講座
- ◇中高専門講座(家庭) ◇小学校専門講座
- ◇論文講座 ◇養護教諭専門講座
- ◇面接講座 ◇幼保専門講座
- ◇実技対策講座 ◇栄養教諭専門講座

5月 教員・幼保教職ガイダンス(教職実践力の向上)
5月中旬～9月中旬 自己PR文添削指導
5月下旬～6月中旬 直前模擬面接講座(個人・集団面接・集団討論)

9月 教員・幼保教職ガイダンス(実践的指導力の向上)
9月～11月 幼保採用試験 2次試験対策面接講座

10月 教員・幼保採用試験対策セミナー:スタート編Ⅰ
10月～翌年6月 各自治体の教員採用説明会の実施

2月 教員・幼保採用試験対策セミナー:人物対策試験編
2月 小学校教育研究会
2月 教員・幼保レベルアップ講座(教職教養/小学校講座/実技対策講座/幼保教職講座/幼保専門講座/養護教諭講座/栄養教諭講座/中高家庭講座/面接講座)





総合政策学部総合政策学科

【連載】研究室への誘い

●松村先生にお聞きします。総合政策学とはどのような学問ですか？

「総合政策学」は比較的新しい学問です。経済学・法学・経営学・社会学といった伝統的な社会科学の基礎知識を獲得し、それらを組み合わせて社会の問題を解決する方策としての「政策」を考え、実装する力を身につけていきます。

2つのコースがあり「企業経営コース」では企業が抱える問題、例えば人材不足、過剰在庫、市場の縮小といった課題に果敢に挑み、企業組織を維持する方策を考えます（ゴーイングコンサーン）。

「公共経営コース」では、主に公共部門（国、自治体）が主体となって解決すべき問題（高齢化、中心市街地活性化、防災）への対策案を考えます。考えるために必要な知識をえて、みんなで議論することを経験します。しかし「企業」と「公共」は独立した主体ではなく、相互に影響しあいま

す。例えば企業が赤字になれば公共の収入である税収は減少します。

このように明確な進路によって「コース」を設定していますが、進路にあまりこだわらず社会の「仕組み」を学びながら「政策立案」できる人材、ゼネラリストを育成する学びが総合政策学です。

●総合政策学部にはどんな研究室（各研究室の研究テーマなど）がありますか？

2年次後期の「専門基礎演習」、3年次前期から4年次前期にかけて取り組む「卒業研究」は、研究室に配属されて行います。

2016（平成28）年度のゼミナールは12あり、南育広学部長（社会学、ソーシャルキャピタル）、青野透教授（法学、憲法学、医事法）、鍛冶博之講師（商品学、レジャー産業、マーケティング）、齋藤敦准教授（商品企画・販売計画）、床桜英二教授（地域課題解決法）、南波浩史教授（日本経済論、

橋本誠志講師（情報法、消費者法）、早川勝教授（M&A、監査制度）、廣江満郎教授（金融政策）、古家弘幸准教授（投資学、経済史）、松村豊大教授（総合政策学、環境、中心市街地）、水ノ上智邦准教授（経済分析、データ解析）があります。

●学生さんたちの雰囲気はいかがですか？ なかでも、このコーナーで取材する学生さんはどのように学業に取り組みられていますか？

2014（平成26）年度生で、松村研究室に配属されている学生は11人でそのうち2人は台湾の義守大学からの交換留学生です。男性2人女性9人と総合政策学部全体の男女比と逆転しています（笑）。

テーマごとに4つの班にわけて、毎週1回の報告はその班ごとに行います。4班それぞれのテーマは「祭りと文化と地域振興」「人口問題・子育て」「法政策学」「国際文

化」。研究会（ゼミ）は毎週月曜日の5限目で各班毎月報告が回ってきますが、きちんと「テーマ設定」「先行文献調査」「RQ（リサーチクエスチョン：研究で明らかにしたい問い）の設定」「調査・論述」をこなして行っています。自分の属さない班のテーマでも議論は白熱します。4年次の秋までに「卒業研究成果報告書（卒業論文）」を仕上げます。

今回集まってもらったのは「祭りと文化と地域振興」班の3人です。とりあげる地域の祭礼、文化行事は実際に学生が参加している太鼓・獅子舞・みこし引きで、人口減少で弱まりつつある地域コミュニティをいかに維持し、活性化するかが共通テーマです。2017（平成29）年3月には「日本計画行政学会若手研究交流集会（会場：一橋大学）」で報告を行い、他大学の先生から研究の評価をいただきました。自分たちが実際に体験している「祭り」「文化」であるがゆえに、自分の「好きなこと」をテーマにした優れた論文を期待しています。

●続いて学生の皆さんにお聞きします。松村研究室（ゼミ）を選んだきっかけ、理由を教えてください。

阿部：卒業論文で獅子舞と地域について総合政策学の視点から研究したかったので、総合政策学のこのゼミを選びました。ゼミ選びは大学生生活4年間の集大成である卒業論文や卒業後の就職などに大きく影響してくると思っています。松村先生はもともと私たちの学年の担任をさせていただいていたということもあり、他の先生よりも距離が近かったので選びました。

石川優：1年生のころから進路のことで松村先生にお世話になっていて「ゼミは松村研究室に入る！」と決めていました。

石川貴：もともと中心市街地における地域活性化について研究しようと考えていて、その研究テーマとゼミの研究内容が一番合

致していた松村ゼミを選びました。

●現在の研究内容を教えてください。

阿部：「地域の祭礼が地域コミュニティを維持するには」というテーマで研究を進めています。地域コミュニティは災害が起こった際の共助の役割や地域全体の防犯の意味などで大きな役割をもっています。しかし、近年ではお隣さんの顔も名前も知らないようなコミュニティの弱体化や希薄化が進んでいます。そのような状況では公助や地域の防犯だけでなく、地域で起こるさまざまな問題に対して解決方法を見出すことが難しくなっていきます。そのような状況にならないようにこれ以上コミュニティを広げるのではなく、今ある地域コミュニティを維持していくという観念に重きを置いています。

今回の研究では香川県における地域の祭礼で奉納される獅子舞がある地域を例に取っています。地域コミュニティの中には地域における伝統的な行事や祭礼があり、これらの行事や祭礼は地域全体での協力のもと成り立っているものです。それを地域のコミュニティを維持していくきっかけや理由付けとしていかしていくことができるのではないかとという仮説のもとで研究を進めています。

石川貴：私の研究内容は「地域の人口問題と地域の祭りの関係」というテーマで進めています。この研究内容を選んだ理由は、私の故郷である愛媛県西条市では祭り好きの友人が多いのですが、市外ではなく市内で就職を希望している友人が多く、その理由の大半が「地元の祭りに参加したいから」というものでした。「地元で大きな祭りがある地域は若者の人口流出をとめられるのではないか」という仮説を立て検証しています。

石川優：私は小学生のころから地元の「鴨島鳳翔太鼓」という和太鼓のチームに入っ

ていて、和太鼓をとおして多くの方と交流をもつことができました。例えばとくしまマラソンの応援や、子どもたちに伝統芸能に触れさせたいという地域の小学校で太鼓を教えるなどしています。和太鼓には人を結びつける力がある、それを社会に発生する問題の解決策につなぐことはできないかと思い、研究しています。

●これからの目標、将来の夢を教えてください。

阿部：地元香川県に帰って就職活動を成功させることが今の一番大きな目標です。それだけでなく、自分が納得いく内容が濃い卒業論文を完成させたいです。将来は地元香川県に戻って大学4年間で学んださまざまな知識や多方面から問題を見る力をいかして、会社の中から、会社全体だけでなくその会社で働く方たちを支えられるような仕事がしたいです。

仕事と家庭の両立もして、地域コミュニティにも積極的に参加して、地域の祭礼でいろんな人との関わることの大切さや楽しさを教えてくれた地元の人たちに恩返しができるような、次の世代に地域の良さを伝えられる大人に成長したいです。

石川貴：これからの目標はいま作成している卒業論文を自分の納得のいくように仕上げることです。そして今年は就職活動をし、来年からは社会人として働くことになりませんが、総合政策学部で学んだことをいかしていきたいです。目標は西条市役所への就職！生まれ育った西条市の活性化のためにいろんなアイデアを出していきたいと思っています。

石川優：将来の夢は警察官になることです。太鼓を通じていろんな世代の方と交流することでコミュニケーション力を身につけることができ、自信につながりました。夢をかなえるべく、今必死に努力をしているところです。



ゼミで使用する教材。大学の図書館もよく利用します。



一橋大学での学会発表の準備で大忙しの3人

アканサス会だより



旅への誘い スチューデントツアーの思い出

アканサス会会長 高橋倫子

日常を離れて旅に出ることは心の再生に繋がります。皆さま、時には旅に出てみましょう。大学では語学研修や異文化との交流等を軸に、さまざまな国内旅行・海外旅行が企画されています。旅は日常では不可能な体験と想像を超える見聞をもたらします。若いときの旅、できるならば海外への旅をお勧めしたいと思います。

ある年の夏、私は徳島文理大学のヨーロッパ音楽の旅に参加しました。大変苦しんだ就職試験から解放された卒業2年後のことでした。上空からのサンゴ礁やキャビンアテンダントの美しさに目を見張り、酒や香水がなぜタックスフリーなのかも知らず、ただただこれから始まる夢のような3週間の旅に、こわごわと足を踏み出したのです。引率の井上先生、川上先生を先頭に、短大の方や徳島大学の学生、教官を含めた17人のグループでした。テレビの泉や真実の口、ベネチアにポンペイ遺跡、ペローナではジュリエットの家を覗いてアレーナで「リゴレット」を観ました。古城めぐり、ミュンヘンでのピアホール体験、イタリア語が喋れないものばかり4人で、クレモナまで列車旅も敢行しました。あの旅の思い出となると紙面が何枚あっても足りませんが、今も鮮やかに甦る一瞬のことをここではお伝えしようと思います。

花の都・フィレンツェを訪ねた時のこと。ダ・ヴィンチやミケランジェロ、ダンテ、そしてメディチ家の栄光に満ち溢れた町。引率されるままウフィツィ美術館に入りました。画集で繰り返し見た名画の数々がズラリと並んでいます。私は皆と笑いながら歩き、自分では平常心でいると思っただけある絵を振り返って見た刹那、突如、頬に滂沱の涙が溢れてきたのです。予想もしない体験でした。特にその絵が好きだったという思いはなく、モノリザでも、最後の審判でも、ヴィーナスの誕生でもなかったのが自分でも驚きでした。その絵は、ミケランジェロの聖家族でした。

経験のない心の震え、またその後の人生でもあのような瞬間は二度とありません。若く柔軟な感性のまま初めて見たさまざまな異文化、スチューデントツアーであればこそその素晴らしい体験であったと思います。皆さま、旅に出ましょう。そして、若い方は、今すぐ旅に出る準備を始めましょう。

役員会

アканサス会役員会を7月23日(土)に開催し、役員改選を行いました。2017年度 役員は以下に決定承認しました。

- 【会 長】 高橋倫子
- 【副会長】 石川慎也・堤美代子・井内 準・平 哲也・内永健太郎・藤井直樹・榎内光子
- 【理 事】 大久保純子・鈴木久美子・福永由里子・原 幸子・小川嘉弘・長江優太・福田 恵・松浦紀子・野田由美子・河野美代・大城泰博
- 【幹 事】 平野享子・長尾久美子・敷島紀子・中路裕子・高田真弓・清久加代子・石川弥加・宗野真和・岡山千賀子・廣瀬和美・三宅 幸・河野真由美・安藝誠二・廣瀬勝盛・藤巻 晃・板東博士・井村幸子・福富史恵・上岡 愛
- 【顧問】 桐野 豊・村崎正人・藤田義彦
- 【参 与】 早雲洋一・佐々木和昭・森山和則
- 【監 査】 安藝 武・出口裕子
- 【徳島県支部長】 河野 司 《同事務担当・幹事》 犬伏知子
- 【香川県支部長】 今村幸太郎 《同事務担当・幹事》 遠藤真由美
- 【沖縄県支部長】 小池伸彦 《同事務担当・幹事》 松下純子
- 【アканサス会事務局・理事】 入野恵子

アканサス会は、徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部卒業の同窓生で、会員相互の親睦をはかるとともに卒業生と母校との連絡を密にし、母校の発展を期することを目的とした同窓会の名称であり1967(昭和42)年に設立されました。本会ではこの目的を達成するために、親睦会・講演会・講習会の開催などの事業を行っています。また、2009(平成21)年に徳島県支部・香川県支部、2011(平成23)年に沖縄県支部を設立し、各支部とも各県出身者を中心にそれぞれ活動を行っています。さらに、毎年4月にアканサス会会員の皆さまに『徳島文理大学通信アканサス』をお送りし、現在の大学の状況をお知らせしています。また、「徳島文理大学公開講座」を5月から徳島・香川両キャンパスにて開催し、毎回さまざまな分野の著名人をお招きしています。詳しくは大学HPをご覧ください、ぜひ皆さま方お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

アканサス会事務局
〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示 180
徳島キャンパス アканサス会事務局
TEL・FAX: 088-602-8726(直) (平日10:00~15:30)
E-mail: acanthus@tks.bunri-u.ac.jp
※氏名・住所など変更の場合は必ずご連絡ください。

《アканサス会支部からのお知らせ》

■徳島県支部

徳島県支部長：河野 司

平素は徳島県支部の活動にご理解・ご支援をいただきありがとうございます。昨年の支部総会は6月11日(土)に開催いたしました。支部総会后、人間生活学部メディアデザイン学科の山城新吾先生をお招きし「一歩進んだデジタルカメラ講座 ～一眼レフでもスマートフォンでも、もっとキレイな写真撮影」という演題での研修会、また新入会員歓迎会を開催し、会員相互の交流を深めることができました。

2017(平成29)年度の行事は、6月10日(土)に支部総会ならびに短期大学部生活科学科の長尾久美子先生をお招きし「災害時の食事について～バククッキング」という演題での研修会を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、支部発足以来ご尽力いただきました梅田真文前支部長より支部長を仰せつかりました、何分微力でございますので皆さまのご指導・ご支援をお願い申し上げます。

■香川県支部

香川県支部長：今村幸太郎

会員の皆さまへ、アканサス会香川県支部より今年度の予定とお知らせと皆さまへのお願いがございます。まず、卒業生の皆さんは卒業と同時にアканサス会(徳島文理大学同窓会)に入会され、卒業後はアканサス会を通じ、卒業生の先輩方とともに在校生や母校のためにいろいろな支援ができることをご存じでしょうか。中には「この同窓会の名称をはじめて聞いた」「活動していることを知らない」と言う方々が多いかと思えます。私たちの力不足でもあるのですが…。アканサス会は数年前に徳島県支部・香川県支部・沖縄県支部が設立され、近々、四国四県の支部が整えられる予定です。

さて、私たち香川県支部は主な活動としては総会、大学祭時のイベント参加・模擬店出店、そして一年で一番盛り上がる親睦会旅行(国内日帰り旅行・国外旅行)などを企画実施しています。

創立125周年に向けて、幅広い卒業生を輩出している徳島文理大学です。その歴史を作ってこられた皆さまへのお願いとして、子育てが終わった世代から、また、今年卒業された皆さまも改めて、私たちとともに同窓会活動にお力をお貸しいただけたらと思います。詳細につきましては、大学と連携し、常に皆さまへ最新のイベント情報をお知らせいたしますので、楽しみにお待ちいただければと思います。

■沖縄県支部

沖縄県支部長：小池伸彦

平素はアканサス会沖縄県支部の活動にご理解・ご支援をいただきありがとうございます。さて、2016(平成28)年度の支部総会・懇親会は昨年9月3日(土)にパシフィックホテル沖縄にて行われました。村崎正人理事長先生から徳島文理大学と沖縄県との深い結びつき、また本県の養護教諭の3分の1が卒業生であることなどについてお話をいただき、参加者一同感慨をおぼえるとともに、徳島文理大学で学び、故郷で活躍する卒業生の様子も頼もしく感じられました。現在も282人の県出身者が母校で学んでいるとのこと、これからの活躍が期待されることです。地域連携センター長の冨田羅勝義先生をはじめとして、多くの先生方ご臨席のもと滞りなく進行できましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

最後に、2017(平成29)年度の支部総会は9月10日(日)に名護市の「ホテル ゆがふいんおきなわ」にて予定されております。多くの沖縄県支部の会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

祝 2016年「第66回 日本スポーツ賞(優秀団体)」受賞

2016(平成28)年リオデジャネイロ五輪や世界選手権など国際大会や各種大会で活躍し、各競技団体から推薦された「第66回 日本スポーツ賞(読売新聞制定)」の優秀選手26人、優秀団体チーム20チームが2016(平成28)年12月19日(月)に発表されました。アканサス会石川慎也副会長が監督をされている、尽誠学園高校(香川)銃剣道部が受賞され、2017(平成29)年1月19日(木)にパレスホテル(東京)にて、表彰式が行われました。



スポーツ庁長官 鈴木大地氏と石川副会長

【石川慎也副会長のあいさつ】

リオ五輪で活躍した方々と同じステージで受賞できたことは誇りです。銃剣道を指導する中で大切にしていることは、部員のいいところを見つけてほめることです。また、普段から何事に対してもプラス思考で行動するように話をしています。技術面では基本技を大切に指導しています。今後の目標は今年の愛媛国体で優勝することです。

2017年度 各県支部総会のご案内 皆さまのご参加をお待ちしております。

徳島県支部 総会・研修会・歓迎会の開催予定	香川県支部 総会の開催予定	沖縄県支部 総会・懇親会の開催予定
開催日：6月10日(土) 10:00～(総会) 11:00～(研修会) 12:00～(新会員歓迎会)	開催日：6月24日(土) 13:00～	開催日：9月10日(日) 16:00～(総会) 17:00～(懇親会)
会 場：徳島キャンパス アканサスホール(2号館) ※研修会は1号館4階(第2調理室・試食室)	会 場：香川キャンパス内(予定)	会 場：ホテル ゆがふいんおきなわ 〒905-0011 沖縄県名護市宮里453-1 TEL:0980-53-0031
【お問い合わせ先】 〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示 180 徳島キャンパス アканサス会事務局 TEL・FAX: 088-602-8726(直) (平日10:00~15:30) E-mail: acanthus@tks.bunri-u.ac.jp	【お問い合わせ先】 〒769-2193 香川県さぬき市志度1314-1 徳島文理大学 香川キャンパス TEL: 087-899-7403(直) E-mail: acanthus@kgw.bunri-u.ac.jp	【お問い合わせ先】 〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示 180 徳島キャンパス アканサス会事務局 TEL・FAX: 088-602-8726(直) (平日10:00~15:30) E-mail: acanthus@tks.bunri-u.ac.jp

詳しくはアканサス会のホームページをご覧ください。【URL】<http://www.bunri-u.ac.jp/acanthus/>

開催

2017年度 保護者会

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部保護者会は、本学の教育目標を達成するため大学と家庭との連携ならびに大学の充実発展を援助することを目的とし、在学生の全保護者を会員として組織されています。

主な行事として、年1回開催される役員総会では各学科から選出された委員の皆さまにご出席いただき、本年度の役員改選や予算および決算報告、事業内容についての審議が行われます。

また、8月から9月に府県別で開催される支部総会では、大学の現状や取り組みについての報告、支部役員改選等が行われ、その後学業成績や大学での生活面、進路についてチューター・担任・学科教員等との個別面談や、就職支援部の教員による就職相談などが行われます。昨年度は15府県16会場で約1,000人の保護者の皆さまにご参加いただきました。2017(平成29)年度は別表のとおり開催予定です。詳細につきましては6月末ごろ、事務局より各ご家庭に案内状をお届けする予定です。なお、昨年度より徳島支部会を徳島キャンパスで、香川支部会を香川キャンパスで開催しておりますので、大学見学を兼ねて多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

保護者会を通じて保護者の皆さまから率直なご意見やご要望を伺い、大学と家庭を結び架け橋として、また会員相互のコミュニティの場としてさらなる充実発展を図っていききたいと考えています。



徳島キャンパス アカサスホールで開催された保護者会徳島県支部

開催

徳島文理大学 公開講座 2017

地域のビジネスや医療・健康、科学・技術など多様なテーマを題材にした「徳島文理大学公開講座2017」を本年度も開催します。11年目となる本講座は、各界で活躍するリーダーから地域や個人が果たす役割などについてご講演いただきます。講演後にはテーマをさらに掘り下げ理解するため、学長と本学教員を交えてパネルディスカッションを行います。さらに会場からの質問にも丁寧に回答いたします。今回は、徳島キャンパス・香川キャンパスとも各3回の計6回を予定しています。各講座の日程・講演者は別表のとおりです。一般の方にも事前申し込みは不要・入場無料で開放いたします。ぜひご家族やご友人をお誘いの上、ご来場ください。

また、昨年開催した公開講座の内容をまとめた書籍『知得 流儀-シメイ-』(白河書院)と、過去10年の講義の中から「地方創生」にかかわる5講義をまとめた電子書籍『私たちが魅了されたひとまちしごと』がAmazonから発売されました。ぜひ書籍でも本講座をお楽しみください。



昨年度の公開講座の様子



電子書籍として Amazon から発売中

2017年度 保護者会支部総会 日程

支部	開催日時・会場
徳島	8月19日(土) 13:00～16:00 徳島文理大学 徳島キャンパス
大阪	8月20日(日) 13:00～16:00 大阪ガーデンパレス
愛媛	8月22日(火) 13:00～16:00 松山全日空ホテル(南館4F)
高知	8月23日(水) 14:00～17:00 ザクラウンパレス新阪急高知
鹿児島	8月24日(木) 13:00～16:00 鹿児島東急REIホテル
香川	8月26日(土) 13:00～16:00 徳島文理大学 香川キャンパス
愛知	8月27日(日) 13:00～16:00 名古屋ガーデンパレス
和歌山	9月1日(金) 13:00～16:00 ホテルグランヴィア和歌山
福岡	9月2日(土) 14:00～16:00 ホテルレオパレス博多
鳥取・島根	9月3日(日) 13:00～16:00 ホテル一畑
兵庫	9月3日(日) 13:00～16:00 神戸三宮東急REIホテル
岡山	9月3日(日) 13:00～16:00 ピュアリティまきび
広島	9月7日(木) 13:20～16:30 シェラトングランドホテル広島
	9月9日(土) 13:30～16:30 パシフィックホテル沖縄
沖縄	9月10日(日) 13:30～16:30 ホテル ゆがふいんおきなわ
	9月11日(月) 13:30～16:30 東京第一ホテル オキナワグランメールリゾート

徳島文理大学公開講座 2017

徳島キャンパス

6月15日(木) 吉見俊哉氏
15:00～17:00 東京大学大学院情報学環 教授

6月22日(木) 成田昌稔氏
15:00～17:00 食品薬品安全センター 理事
熊本大学 非常勤講師

6月29日(木) 坂東政司氏
15:00～17:00 自治医科大学呼吸器内科 教授

香川キャンパス

5月26日(金) 中村 元氏
15:00～17:00 水族館プロデューサー
WEB 水族館 館長

6月9日(金) 細貝淳一氏
15:00～17:00 株式会社マテリアル 代表取締役

6月23日(金) 成田昌稔氏
15:00～17:00 食品薬品安全センター 理事
熊本大学 非常勤講師

村崎学園紹介

学校法人村崎学園は、1895(明治28)年、創立者村崎サイの「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念のもと設立されました。その信念は建学精神「自立協同」としてその後の学園経営の基礎となり、またゆるぎない教育の目標として一貫して受け継がれてきています。

学園創立50周年にあたる1945(昭和20)年には、戦火によって総てを失い創立者もまた校舎と運命を共にいたしました。戦野から帰還した前理事長村崎凡人は、サイの意志を承け、学園の復興に精魂を傾け、幼稚園から大学院までを完成し、総合

学園として、独立心と国際性豊かな人材の育成に励みました。

その後、村崎正人理事長は、社会の変化を踏まえた教育の充実を図り、大学において、徳島キャンパスに総合政策学部、香川キャンパスに理工学部・香川薬学部・両キャンパスにまたがる保健福祉学部を設置し、現在では大学・短期大学部合わせて9学部27学科、6大学院、3専攻科、そして5研究所、1相談室を有する文理融合の総合大学へと発展させました。

幼稚園・小学校・中学校・高等学校を擁した学

学園本部お問い合わせ
〒770-8560 徳島県徳島市寺島本町東1-8
TEL: 088-622-0097 FAX: 088-626-2998

園においては、幼稚園から大学院までの一貫教育体制が確立している中で幅広く教育の場を提供しています。優れた教職員と最新鋭の施設・設備の整った「安心」「安全」な教育環境のもと成長を継続して支援することにより社会の多様な要請に応える人材育成に力を注いでいます。

学園は建学精神を体し、それぞれの学校が自立して相互に連携している共同体です。先人の残した精神・教育・伝統のもと、今後とも幼稚園から大学院までの各校が協同し、私学教育発展のためさらなる進歩を続けてまいります。



徳島文理大学附属幼稚園 URL: <http://www.bunri-u.ac.jp/kids/>

本幼稚園は、学園の建学精神である「自立協同」を基本的理念とし、具体的なものとして「健康・知性・徳性」の3つの基本的教育方針を掲げています。それに沿って子どもたちを育成し、徳島文理小学校・中学校・高等学校への教育に繋げています。

また、子どもたちが良い環境下で多くのことを経験すれば、子どもたちの能力は驚くほど伸びるものと考え、本園では望ましい環境づくりに全力を尽くしています。大学附属幼稚園としての利点を十分にいかし、充実した施設・設備と優秀な教員がそろった総合大学の協力体制のもと、質の高い保育をめざしています。

さらに、保護者のための育児講座・預かり保育など子育て支援にも力を注ぎ、幼児が家庭から離れて社会生活を開始する第一歩を、安全で安心して踏み出せるようサポートしています。今後とも学園の一貫教育の一翼を担う幼稚園としての責任を果たすべく努めています。

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示2 TEL: 088-653-4941 FAX: 088-653-4948



徳島文理小学校 URL: <http://bunri-e.ed.jp/>

本小学校では、建学精神「自立協同」をもとに、校訓を「正しく強く美しく」と定め、知性・意・体の調和のとれた国際性豊かな人材の育成をめざしています。

児童にとって、安全で学びやすく整備された施設・設備の中で、6年間で公立学校の7年間分の授業時数を確保し、本小学校独自のカリキュラムを編成して教育内容を充実しています。

具体的には、低・中・高学年別の3つの図書室と学級文庫を利用した読書指導に力を入れ、毎日の日記指導等とも合わせた「読む力・書く力」を身につけており、感想文や作文が全国的に高い評価を受けています。また、英語は開校以来、全学年で週2時間を教科として特設し、段階的・発展的に授業を展開しています。高学年では、そのうち1時間をネイティブスピーカーが指導し、将来使える英語の基礎を培っています。さらには、全校茶会や一味会(音楽・英語劇)、古典文学、百人一首、四字熟語・ことわざかるた等々に取り組み、日本の伝統文化にも慣れ親しんでいます。情操面においても、人を思いやる心・あいさつやマナー・感謝の心等を育てることに取り組んでいます。

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示68-10 TEL: 088-652-5567 FAX: 088-656-6805



徳島文理中学校・高等学校 URL: <http://bunri.ed.jp/>

環境に優しい安心・安全な校舎、充実した施設・設備と本格的な日本庭園、広々とした運動場等、本校の教育環境は理想的なものとなっています。

難関大学・学部に対応した教材と先取り学習によって生じるゆとり、高い目標に向かって切磋琢磨する生徒集団と経験豊富な教職員の信頼関係が、東大43人・国立大学医学部228人、徳島文理大学238人(過去10年間)に代表される顕著な合格実績を生んでいます。

中高一貫教育のゆとりの中で多彩な活動を積極的に推進しています。語学研修を実施しているシドニー郊外のナラビーン校や北京師範大学第二附属中学との友好交流を積極的に推進しています。活躍する部活動を応援し、楽しい部活動も奨励しています。活気溢れる文化祭、クラス一丸となった体育祭や多彩な学校行事は、豊かな社会性を育む機会となっています。

各分野で活躍している卒業生と在校生が、お互いに照らし合い高め合いながら「自立協同」の建学精神を胸に「品位と知性」を行動規範として世界を舞台に、世の為、人の為に貢献することを願っています。

〒770-8054 徳島県徳島市山城西4丁目20 TEL: 088-626-1225 FAX: 088-655-1699



徳島文理大学の建学精神

徳島文理大学の建学精神は、「自立協同」である。

この建学精神は、学祖村崎サイが明治28年（1895年）7月徳島に私立裁縫専修学校を設立した歴史に由来する。学祖は、「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念を持ち「女性の自立」を唱えて村崎学園を創立した。昭和20年（1945年）7月、学園は戦火に包まれ灰燼に帰し、村崎サイも学園と運命を共にした。その年の秋、戦野から帰還した村崎凡人前理事長は、学園の復興に精魂を傾け、総合学園の建設を目指した。その過程で、「他からの協力、他への協力なくして、『人間の自立』はあり得ない。」との確信に至り、学祖村崎サイの精神を受け継ぎ、「村崎学園」の建学精神を「自立協同」としたものである。

この建学精神の意味するところは、成長してゆく人間として、「自立」は重要な到達目的であり、「協同」は「自立」を具現化する方法、とするものである。「協同」は「力を合わせて物事をする」ことなので、個としての「自立」は、「協同」すなわち「他からの協力、他への協力」という体験の中で促される。「人」はその体験を通して人間的な成長を遂げる。学園における教養的教育、専門的学術・芸術探求の教育は、まさに「人間の自立」を促す「協同」の場であらねばならない。

爾来、学園はこのような歴史に基づいた「自立協同」の建学精神のもと、教育を推進し、幼、小、中、高、短大、大学併せて9学部27学科、6大学院、3専攻科、そして、5研究所、1相談室を有する総合学園として発展してきた。

今後とも建学精神のもと、ますます精進し、学術・芸術の探究を通して未来を創造する大学でありたいと願っている。

2017 オープンキャンパス日程

徳島キャンパス (11:00~16:00)

6月17日(土)・7月16日(日)・8月4日(金)・8月5日(土)
8月20日(日)・9月24日(日)

香川キャンパス (11:00~15:30)

5月28日(日)・6月18日(日)・7月17日(月)祝
8月6日(日)・8月20日(日)・9月17日(日)

◆◆無料送迎バスのご予約は◆◆
お電話またはWebで

☎0120-60-2455

<http://www.bunri-u.ac.jp>

徳島キャンパス (徳島県徳島市山城町)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／人間生活学研究科(博士課程)／看護学研究科(博士課程)／総合政策学研究科(修士課程)
- 専 攻 科……人間生活学専攻科(児童学専攻・人間生活学専攻)／助産学専攻科／音楽専攻科(器楽専攻・声楽専攻)
- 薬 学 部……薬学科
- 人間生活学部……食物栄養学科／児童学科／心理学科／メディアデザイン学科／建築デザイン学科／人間生活学科
- 保健福祉学部……口腔保健学科／理学療法学科／看護学科／人間福祉学科
- 総合政策学部……総合政策学科
- 音 楽 学 部……音楽学科
- 短期大学部……商科／言語コミュニケーション学科／生活科学科／保育科／音楽科

香川キャンパス (香川県さぬき市志度)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／工学研究科(博士課程)／文学研究科(博士課程)
- 香川薬学部……薬学科
- 保健福祉学部……診療放射線学科／臨床工学科
- 理 工 学 部……ナノ物質工学科／機械創造工学科／電子情報工学科
- 文 学 部……文化財学科／日本文学科／英語英米文化学科

徳島文理大学ホームページ



(LINE)
QRコード

<http://www.bunri-u.ac.jp>



校章の由来 …Acanthus とは、アカンサス属の一種、アカンサス・モルリスの葉で、別名ハアザミ。その刺は、事に当たって厳正、的確に処理する優れた知性を、その葉は古代ギリシャの美または芸術に通ずる豊かな情操を具象化し、本学の建学精神である「自立」を具現化した科学と芸術を示すものとして校章に制定されました。

※学生の学年は 2016 年度のものです。